純正
キーレスエントリーシステム

取 付 要 領 書

適用車種：ＲＸ－７
集中ドアロック付車
部品番号：Ｆ138 Ｖ7 600

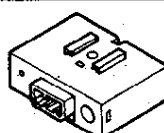
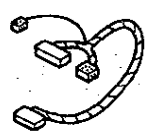
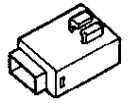
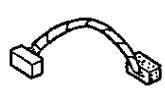
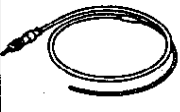
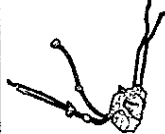
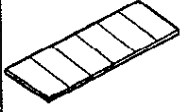
この度は純正キーレスエントリーシステムをお買い上げ頂きましてありがとうございます。
常に最良の状態でご使用頂くために、本取付要領書をよくお読み頂き、内容を理解された上で正しい取付けを行って下さい。

＜ご注意とお願い＞

- 本取付要領書に示されている⚠警告と⚠注意マークは、取付け、取扱いに関する安全上の注意事項ですので、必ず厳守して下さい。
- 本取付要領書に記載されていない取付け、使用方法は絶対に行わないで下さい。
- 本商品を改造しての取付けは、絶対に行わないで下さい。
- 本商品の取付けは、お車をお買い上げの販売店でお願い致します。
- 本商品の取付け、取扱い内容につきまして、ご不明な点がございましたら、商品購入先の販売店にお問い合わせ下さい。
- 記載事項を守らなかった為に発生した不具合につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承下さい。

取付け店の方へ
- 取付け完了後、本取付要領書は必ずお客様にお渡し下さい。

お客様へ
- 本取付要領書は、他の用品装着時に必要となる場合がありますので取付け完了後も大切に保管して下さい。

本取付要領書は、1998年11月現在の車両を基準に編集しております。
車両の仕様及びその他の変更に伴い、本取付要領書の内容が今後の車両と一致しない場合がありますので、あらかじめご承知おき下さい。

マツダ株式会社
広島県安芸郡府中町新地３－１

41436-611-40

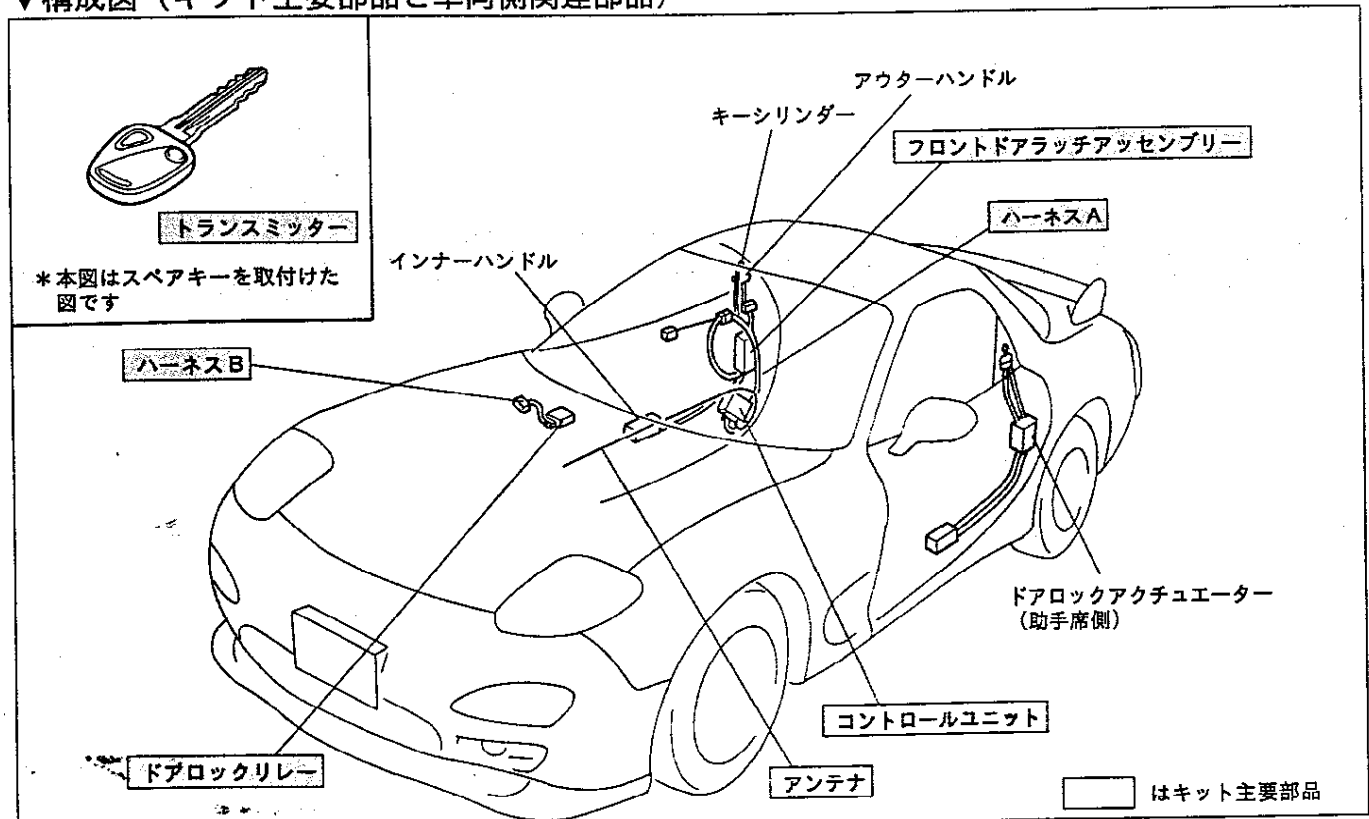
1．構成部品

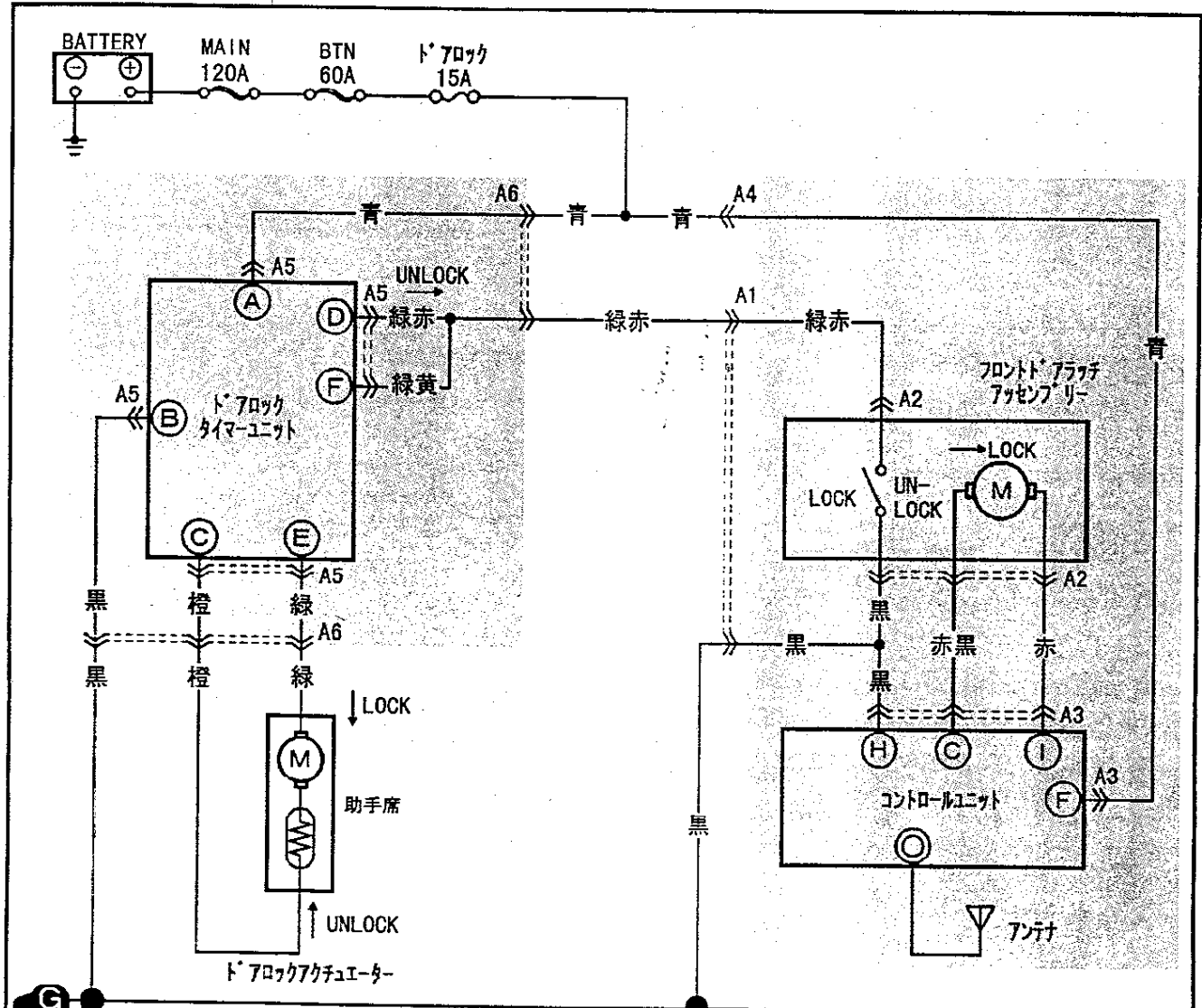
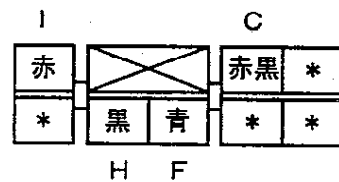
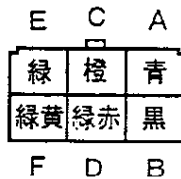
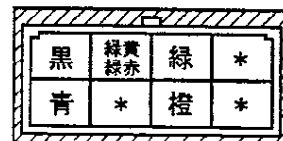
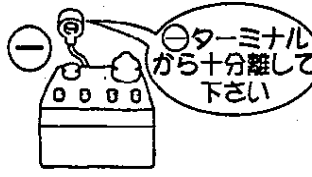
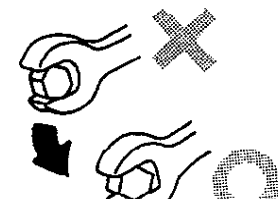
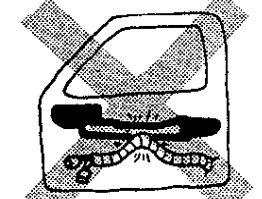
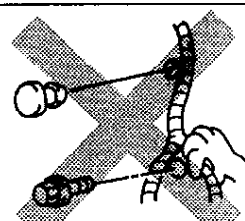
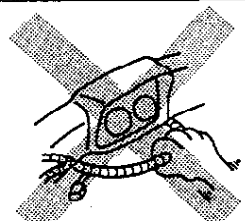
▼キット一覧

取付け前に構成部品がすべてあるかどうか確認して下さい。

	部品	名称	数量	部品	名称	数量	部品	名称	数量
★トランスミッター（送信機）【C901 V7 601】		コントロールユニット本体	1		★ コントロールユニット （D201 V7 602）	1		ハーネスA	1
		☆ ロアーケース	1		★ ドアロックリレー （GR29 67 830B）	1		ハーネスB	1
		☆ スペーサー	1		★ アンテナ （C001 V7 605）	1		★ フロントドアラッチアッセンブリー （ドアロックアクチュエーター） （F138 V7 604）	1
		☆★ ネジ （HG55 67 5D7）	2		テープ （ハーネス固定用） （20×50㎜）×6	2 シート		束線バンド	4
		ドライバー	1		両面テープ	1		キーレスエントリーシステム 取付要領書 取扱説明書	各 1
					ウレタン	1			

★については単品でご購入できます。部品番号をご確認の上注文していただくようお願い致します。
☆についてはセットでご購入できます。
補修ケース・ネジセット：C901 V7 611 〈ネジ6個、ロアーケース3個（各ブランド1個ずつ）、スペーサー1個〉

▼構成図（キット主要部品と車両側関連部品）

2．回路図

コネクタ図はハーネス側から見た図です。

3．取付け作業前の確認事項

使用工具

☆ドライバー（プラス、マイナス）
☆カッターナイフ　☆石鹸水　☆工業用アルコール
☆ウエス　☆ビニールテープ　☆ニッパー
☆保護テープを巻いたマイナスドライバー
☆保護テープを巻いたファスナーリムーバー
☆トルクドライバー（プラス）

⚠ 注意

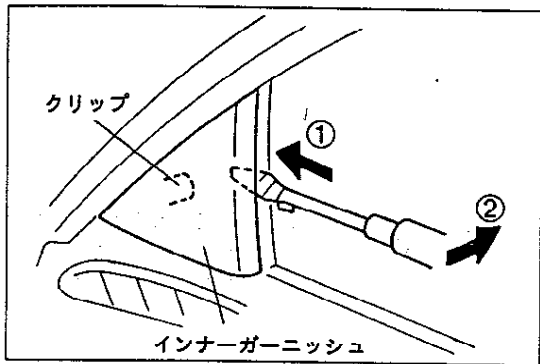
運転席以外の窓を全開にするか、ドアを開けておいて下さい。全ドアが施錠した場合、解錠出来なくなります。	バッテリーの⊖ターミナルを切り離した際は、端子がふれないように十分注意して下さい。作業中のショート事故による感電やケガの原因となります。	寸法、及び使用目的に合った工具を使用して下さい。部品を破損する原因となります。	ロッド、リンク部等の可動部には、ハーネスを近づけないで下さい。断線やショートによる事故や感電、火災の原因となります。
	⊖ターミナルから十分離して下さい		
ドアトリムの取付け部（クリップ、スクリュー等の穴）には、ハーネスを近づけないで下さい。断線やショートによる事故や感電、火災の原因となります。	ハーネスがブラブラしないように、車両ハーネスとまとめたりして下さい。断線やショートによる事故や感電、火災の原因となります。	コネクタは本体を持って切り離して下さい。コネクタは確実に接続して下さい断線や接触不良による事故、火災の原因となります。	ハーネスは無理に引っ張らないで下さい。断線やショートによる事故や感電、火災の原因となります。

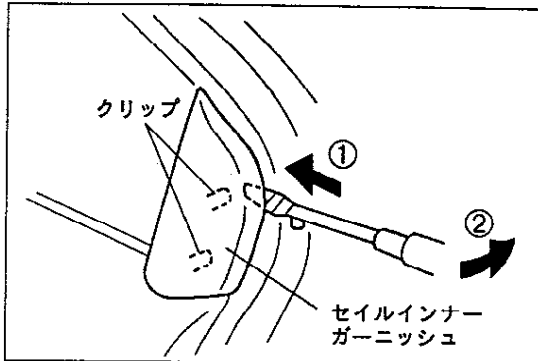
参考

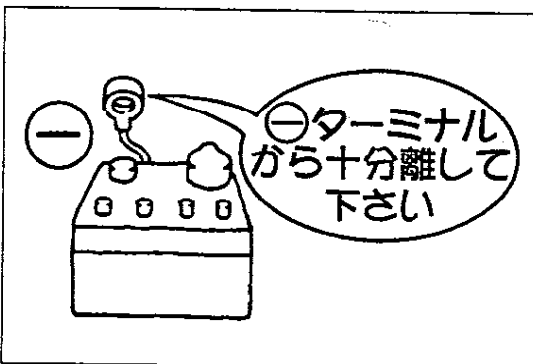
● 車両部品の取外し／取付けに関しては、各車両の整備書を参考にして下さい。

お願い

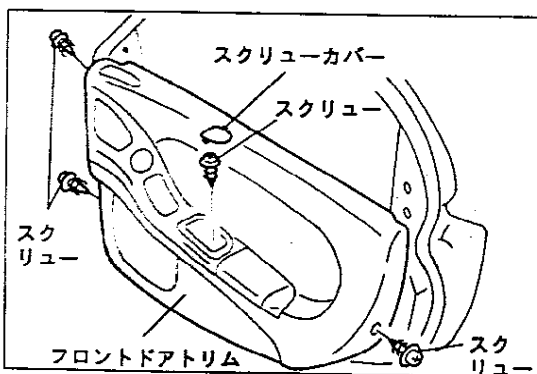
● 車両部品の取外し、取付けに際して、脱着部品の傷、汚れ等は充分に注意して下さい。
　またプロテクター、マット等を用意し、車両に傷、汚れ等が付かないように注意をして下さい。

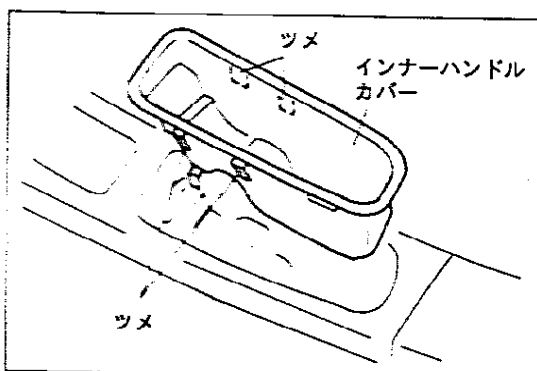
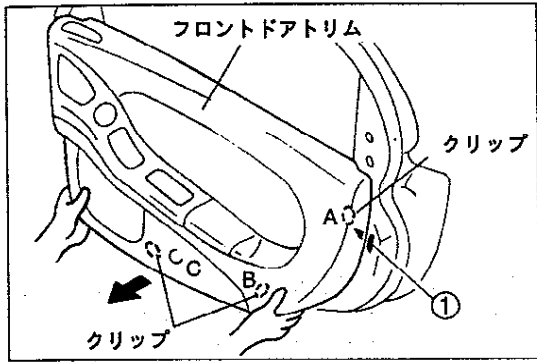
4．取付け準備

インナーガーニッシュの取外し

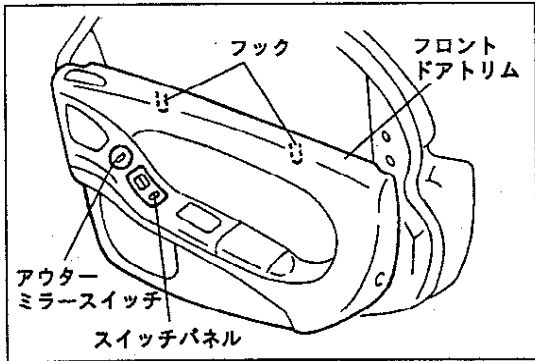
1．運転席の窓を全開にします。
2．保護テープを巻いた⊖ドライバー、又はファスナーリムーバーを①のように差し込み、②の方向へ動かし、インナーガーニッシュのクリップを外し、取外します。

セイルインナーガーニッシュの取外し

1．保護テープを巻いた⊖ドライバー、又はファスナーリムーバーを①のように差し込み、②の方向へ動かし、セイルインナーガーニッシュのクリップを外し、取外します。

バッテリー⊖ターミナルの切り離し

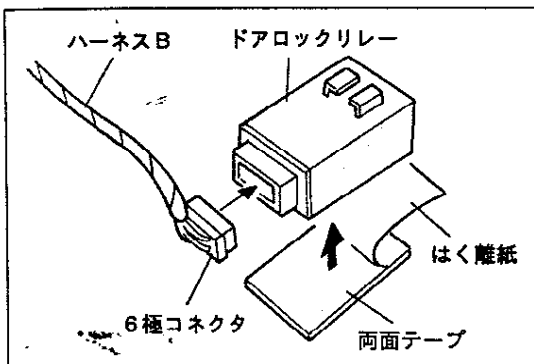
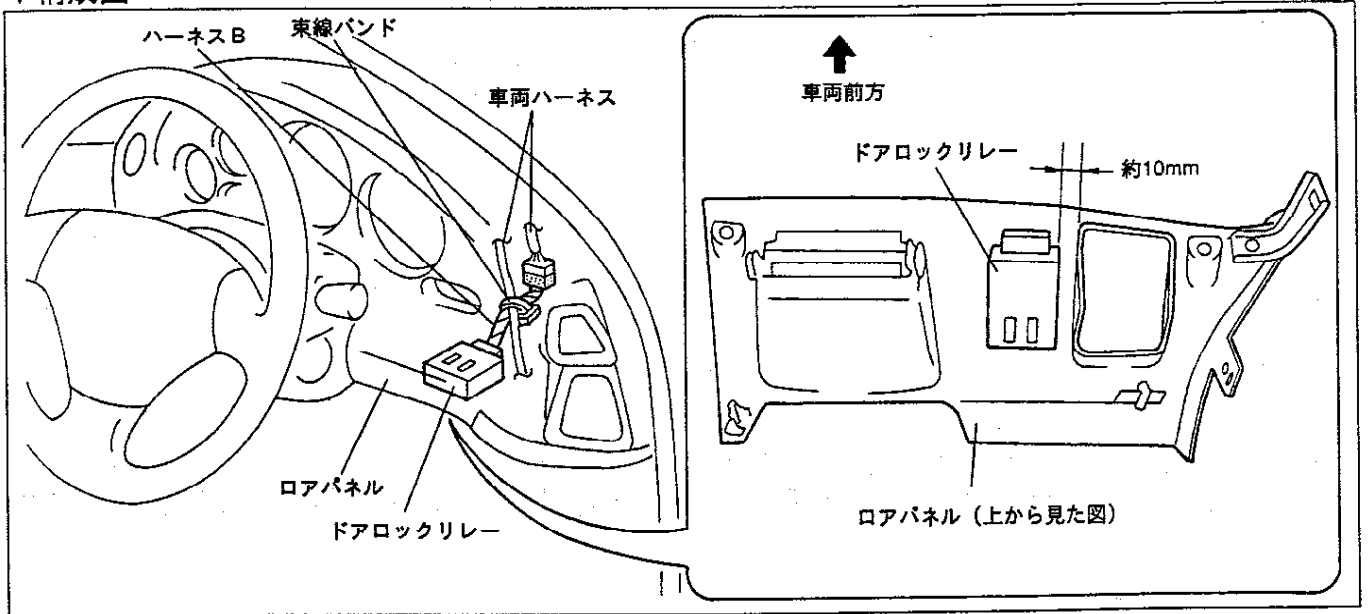
1．運転席の窓を全閉にします。
　その他の席の窓を開けておくか、ドアを開けておきます。
2．バッテリーの⊖ターミナルを切り離します。

> ⚠ 注意
> ● 切り離した際は、端子がふれないように⊖ターミナルから十分離して下さい。

フロントドアトリムの取外し

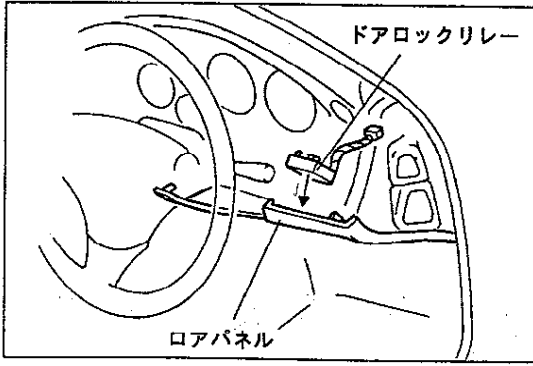
1．保護テープを巻いた⊖ドライバーを使用して、インナーハンドルカバーのスクリューカバーを取外します。
2．スクリューを取外します。

3．インナーハンドルカバーを上方へ引っ張りツメを外し、取外します。

4. フロントドアトリムを両手で手前に引っ張り、クリップをドアパネルから外します。

参考
- 外れにくい場合は、①のように、保護テープを巻いたファスナーリムーバーを挿入し、フロントドアトリムのクリップⒶをドアパネルから外します。
クリップⒷ、Ⓒも同じようにして外します。

5. フロントドアトリムを上方に持ち上げ、フックをドアパネルから外します。
6. スイッチパネル、アウターミラースイッチに接続されているコネクタを切り離します。

5. ドアロックリレーの取付け

▼構成図

ドアロックリレーの取付け

⚠ 注意
- 工業用アルコールで両面テープ貼り付け面の油分やほこり等を拭き取って下さい。

1. ドアロックリレーの凸部の反対面に、両面テープを貼り付けます。
2. キット部品ハーネスBの6極コネクタをドアロックリレーに接続します。

3．ドアロックリレーの両面テープはく離紙をはがし、運転席側ロアパネル内側に、貼り付けて固定します。
（「ドアロックリレーの取付け」項目、構成図を参照）

4．既存ドアロックタイマーユニットから8極コネクタを切り離し、ドアロックリレーハーネスのコネクタに接続します。

参考

● 既存ドアロックタイマーユニットは、何も接続せずそのままにしておきます。

5．ドアロックリレーハーネスを付属品の束線バンドで車両ハーネスに固定します。

⚠ 注意
● 束線バンドの余りは、ニッパ等で切り取って下さい。

6．フロントドアラッチアッセンブリーの取付け

▼構成図

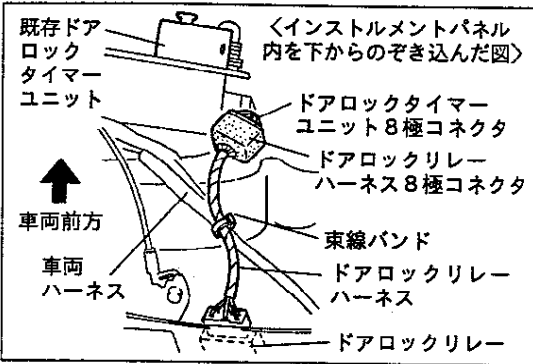
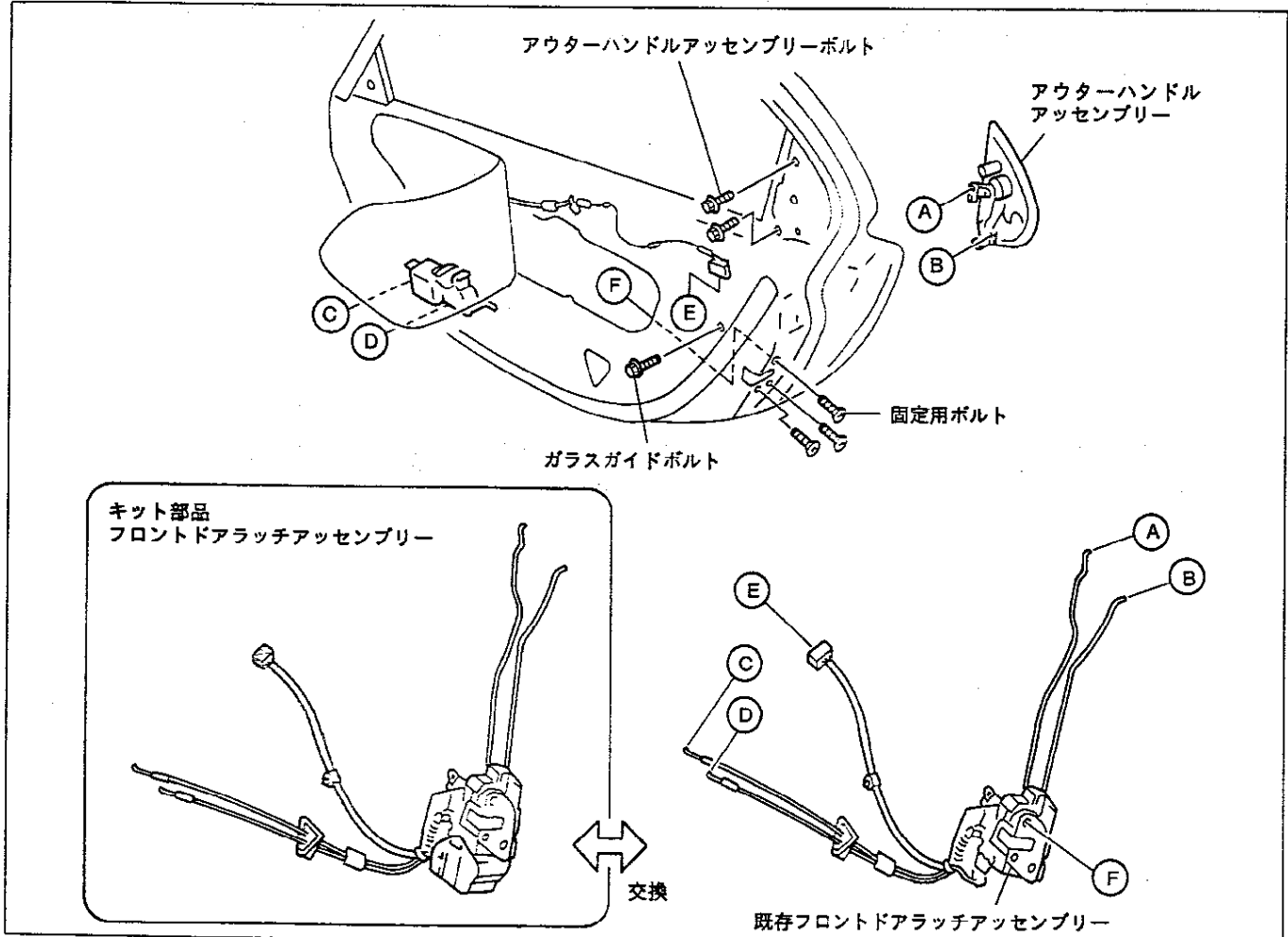
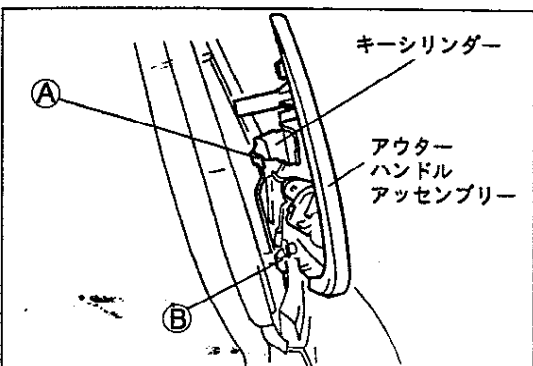
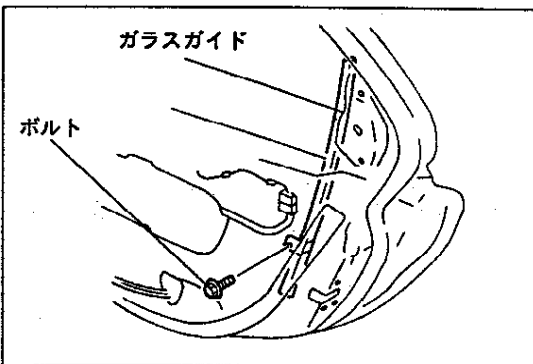
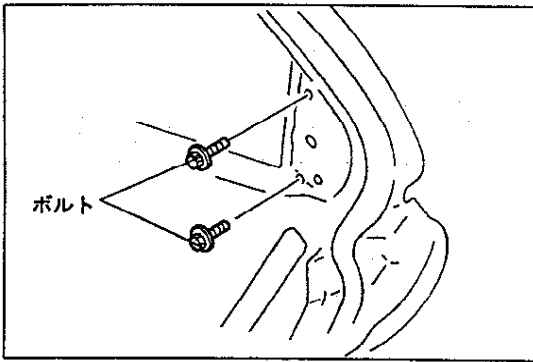
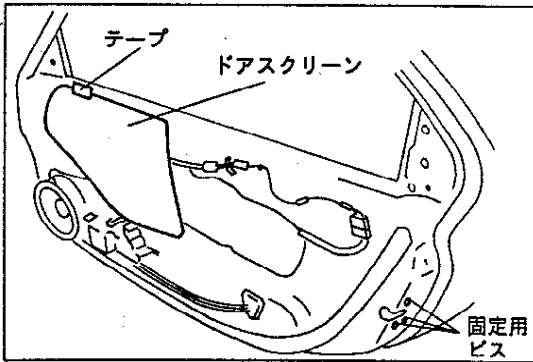
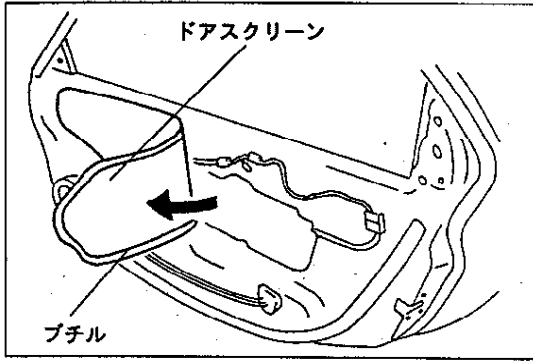
アウターハンドルアッセンブリーボルト

アウターハンドルアッセンブリー

固定用ボルト

ガラスガイドボルト

キット部品
フロントドアラッチアッセンブリー

交換

既存フロントドアラッチアッセンブリー

既存フロントドアラッチアッセンブリーの取外し要領

1. ドアスクリーンのブチル（黒い接着用樹脂）を石鹸水に浸けたカッターナイフで切りながら半分程めくります。

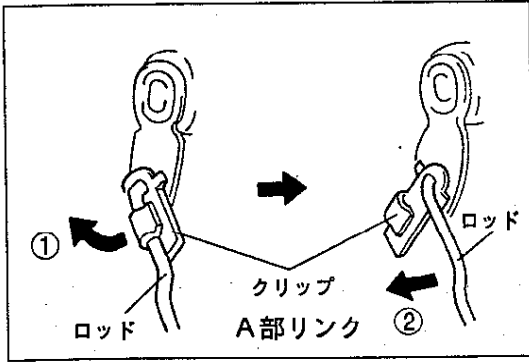
> ⚠ 警告
> ● カッターナイフでの作業には、ケガのないように十分注意しながら作業を行って下さい。

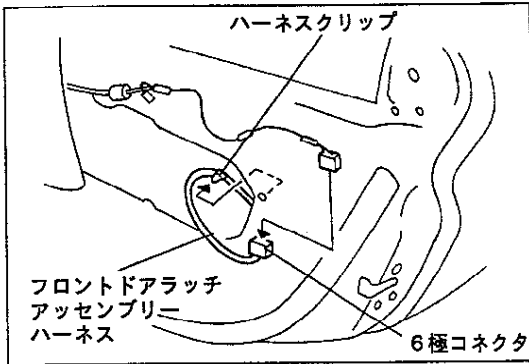
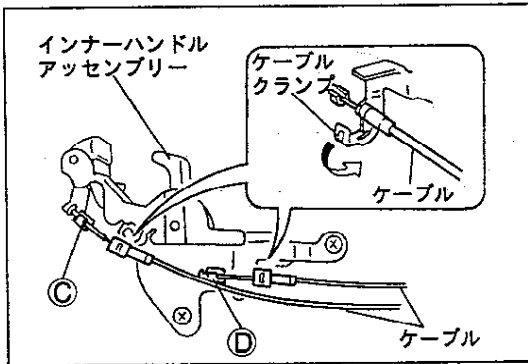
> ⚠ 注意
> ● ドアスクリーンをカッターナイフで切らないように注意して下さい。

2. ドアスクリーンが邪魔にならないように、テープ等でドアパネルに固定します。
3. フロントドアラッチアッセンブリーの固定用ビス３本を緩めます。(緩めるだけで取外さないで下さい)

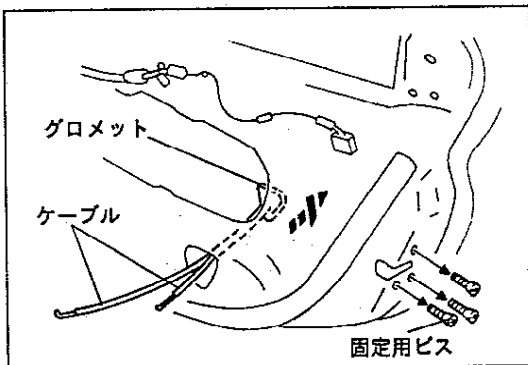
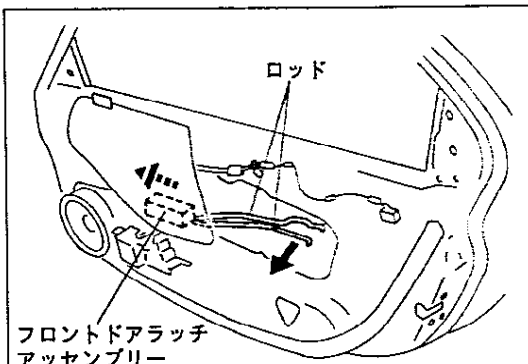
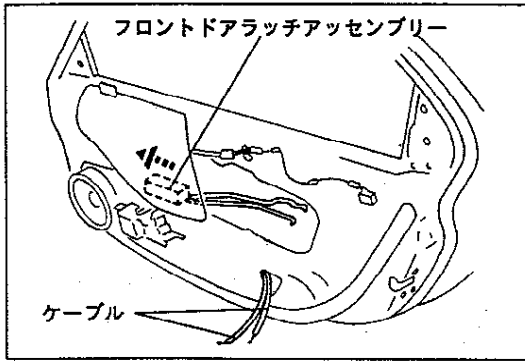
4. アウターハンドルアッセンブリーの固定ボルトを取外します。
5. アウターハンドルアッセンブリーを少し引っ張り、ロッドが見えるようにします。

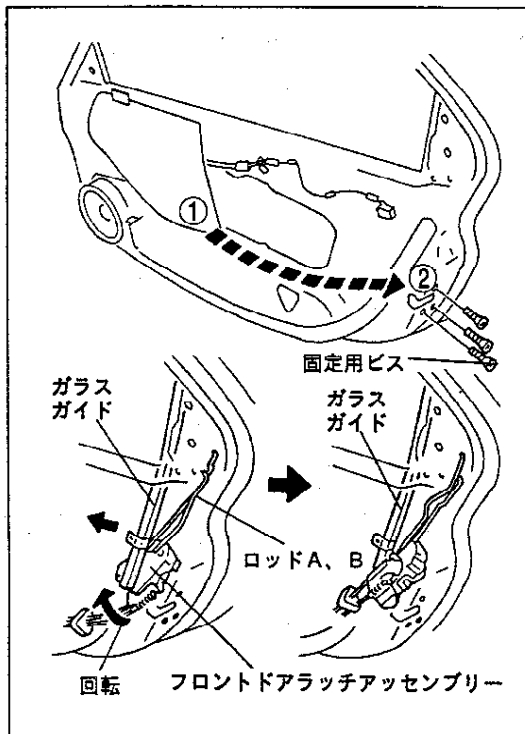
6. ガラスガイドの固定ボルトを外し、ガラスガイドが動くようにしておきます。

7. アウターハンドルアッセンブリーのA、B部リンクからロッドをそれぞれ取外します。

参考

- A部リンクのクリップを①のように回し、ロッドから外します。
  ②のようにロッドを引き抜き、取外します。
- B部リンクからロッドを取外す場合は、A部リンクと同じ要領で取外します。

8. フロントドアラッチアッセンブリーの6極コネクタを切り離し、ハーネスのクリップをドアパネルから外します。

9. インナーハンドルアッセンブリーのC、D部リンクのケーブル固定部からケーブルクランプを外します。
10. インナーハンドルアッセンブリーのC、D部リンクからケーブルをそれぞれ取外します。

参考

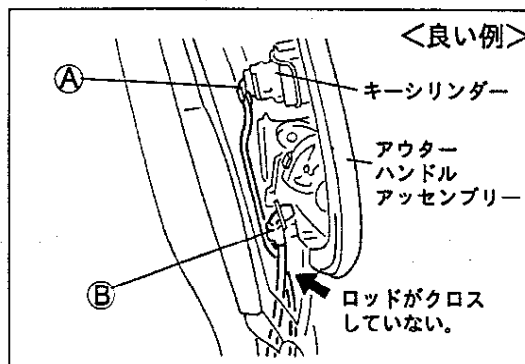
- C、D部リンクからケーブルを取外す場合は、A部リンクと同じ要領で取外します。

11. グロメットをドアパネル内へ押し込みます。
12. 固定用ビス3本を取外します。

13. フロントドアラッチアッセンブリーを図示の位置へ移動し、ロッド2本をドアパネルから出します。
14. 取り出したロッドを引っ張りながら、フロントドアラッチアッセンブリーを取り出します。

キット部品フロントドアラッチアッセンブリーの取付け要領

1. フロントドアラッチアッセンブリーのケーブルをドアパネルの穴から出します。
2. 既存フロントドアラッチアッセンブリーの取り出しと逆の手順で、キット部品フロントドアラッチアッセンブリーをドアパネル内へ挿入します。

3. フロントドアラッチアッセンブリーを①の位置から②の位置へ移動します。

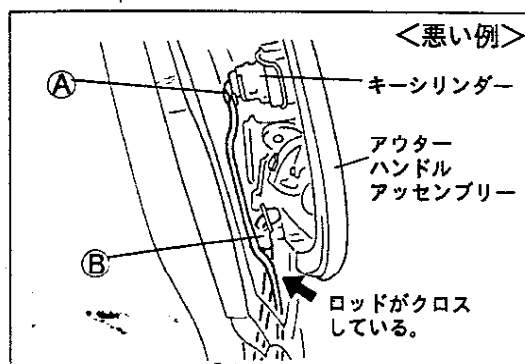
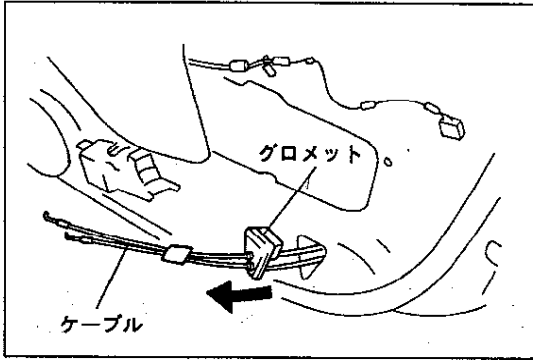
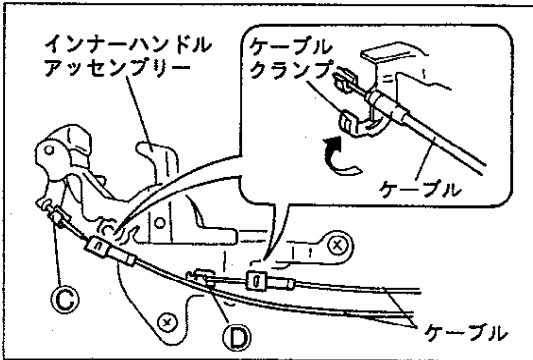
参考

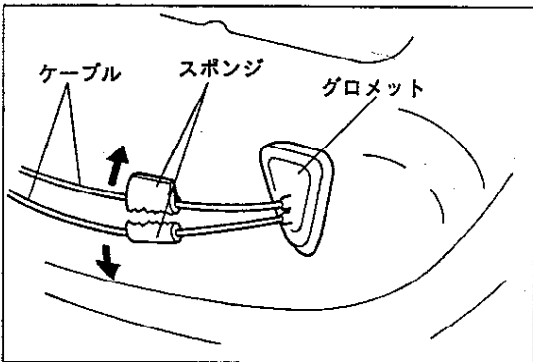
- **フロントドアラッチアッセンブリーをドアパネル内で移動する際、移動しにくい場所があります。下記の順番で移動して下さい。**

  1. **②の位置に移動する際、ガラスガイドを矢印のように動かし、ロッドA、Bをアウターハンドル側へ出しながら、フロントドアラッチアッセンブリー本体を移動します。**
  2. **ガラスガイド付近では図示のように、フロントドアラッチアッセンブリーを回転させながら②の位置へ移動します。**

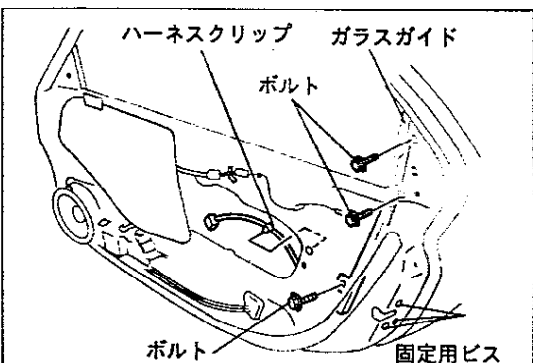
4. 固定用ビス3本でフロントドアラッチアッセンブリーを仮止めします。

5. アウターハンドルのA、B部リンクにロッドを取外しと逆の手順で取付けます。

⚠ 注意

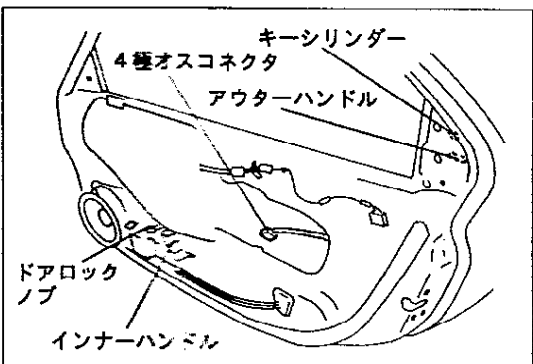
- **A、B部リンクにロッドを取付ける際、図の<良い例>と<悪い例>を参考にして、ロッドがクロスしないようにして下さい。**
  ロッドがクロスしたまま取付けると、アウターハンドル、キーシリンダーの操作力が重くなり故障の原因となります。

6. ケーブルをグロメットごとドアパネルから引っ張り出します。

7. インナーハンドルアッセンブリーのC、D部リンクに、ケーブルをそれぞれ取外しと逆の手順で取付けます。

> ⚠ 注意
> ● ケーブルを取付ける際、ケーブルをよじらせたり、曲げたりしないで下さい。作動不良の原因となります。

8. ケーブルのグロメットを取付けます。

参考
● グロメットは単体で動きます。ずらしながら取付けて下さい。

> ⚠ 注意
> ● グロメットを取付ける際、隙間のないようにしっかり取付けて下さい。

9. ケーブル2本を留めてあるスポンジを図示のように、切り離します。
10. アウターハンドルを取外し逆の手順で取付けます。
11. 動くようにしておいたガラスガイドを固定します。
12. 仮止めしておいた固定用ビス3本を締付け、フロントドアラッチアッセンブリーを固定します。

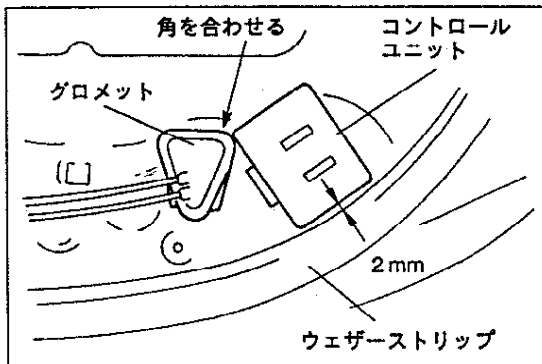
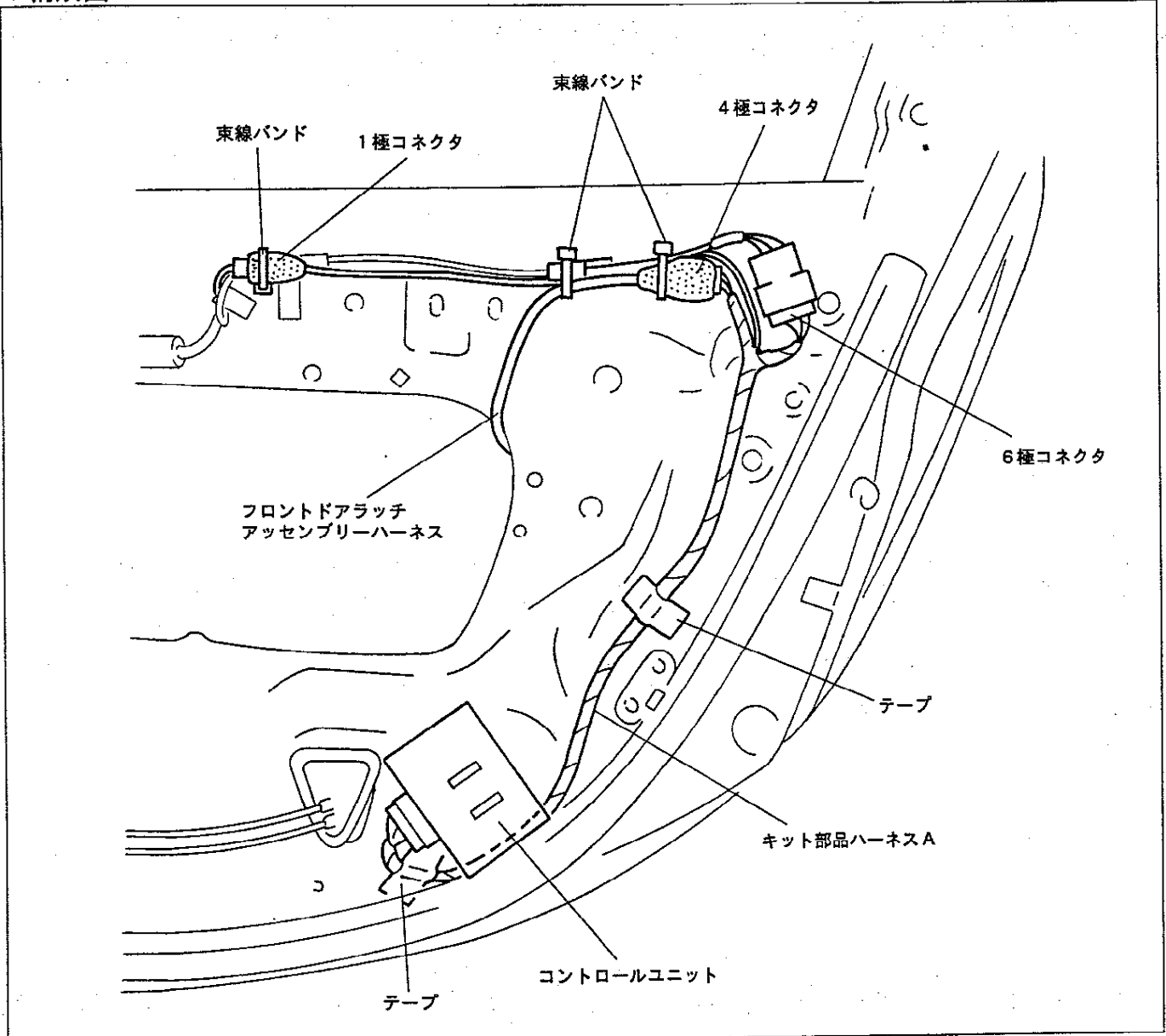
フロントドアラッチアッセンブリー固定用ビス締付けトルク
: 4.2〜6.2 N・m {43〜63 kgf・cm}

13. フロントドアラッチアッセンブリーのハーネスクリップをドアパネルに固定します。
14. ドアロックノブ、インナーハンドル、アウターハンドル、キーによる施錠、および解錠が正常通り作動するか確認して下さい。
15. 異常があれば、各リンク部等の取付け状態を確認して下さい。特に操作力が重い時は、ロッド、ケーブルのクロスが考えられますので点検して下さい。

参考
● フロントドアラッチアッセンブリーの4極オスコネクタは「ハーネスの取付け」の項目で接続します。

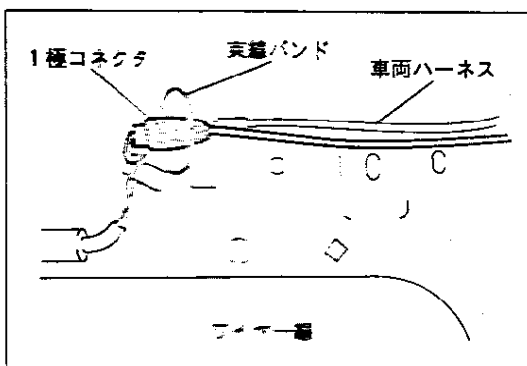
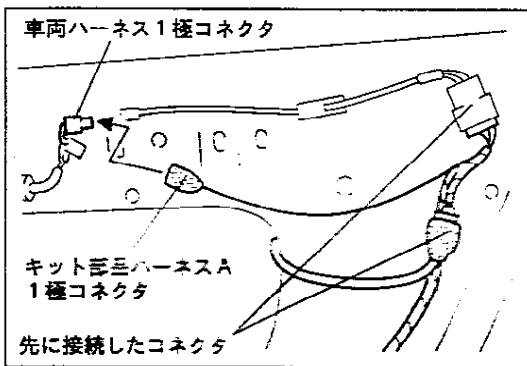
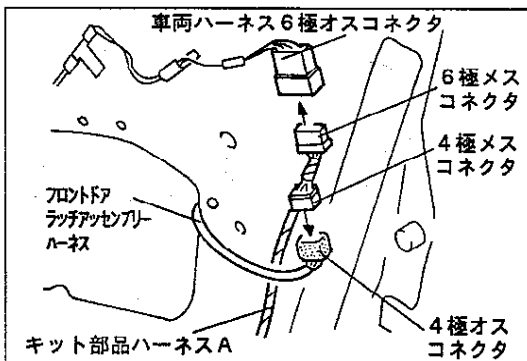
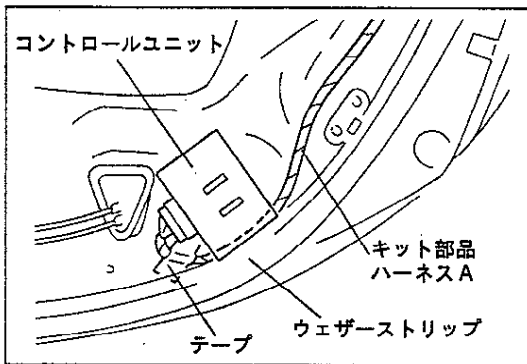
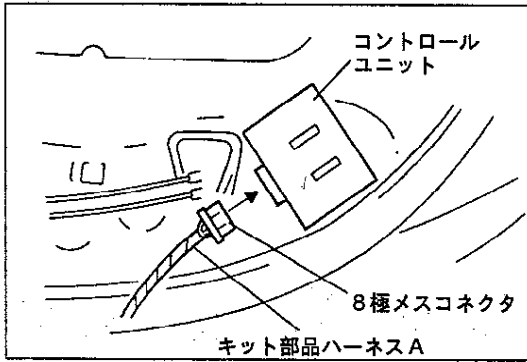
7．コントロールユニット、ハーネスの取付け

⚠注意
- 「コントロールユニット、ハーネスの取付け」は、必ずレイアウト図通りに取付けて下さい。被水により、誤動作の原因となります。

▼構成図

束線バンド
1極コネクタ
束線バンド
4極コネクタ
6極コネクタ
フロントドアラッチ
アッセンブリーハーネス
テープ
キット部品ハーネスA
コントロールユニット
テープ

コントロールユニットの取付け要領

⚠注意
- 工業用アルコールでフロントドアトリム裏側のコントロールユニット貼り付け面の油分やほこり等を拭き取って下さい。

1．コントロールユニットの接着テープはくり紙をはがし、コントロールユニット貼り付け面（図示の位置）に貼り付けて圧着します。

ハーネスの取付け要領

1．キット部品ハーネスAの8極メスコネクタをコントロールユニットに接続します。

2．キット部品ハーネスAがウェザーストリップに乗り上がらないように、コントロールユニットとドアパネルの隙間に差し込みます。

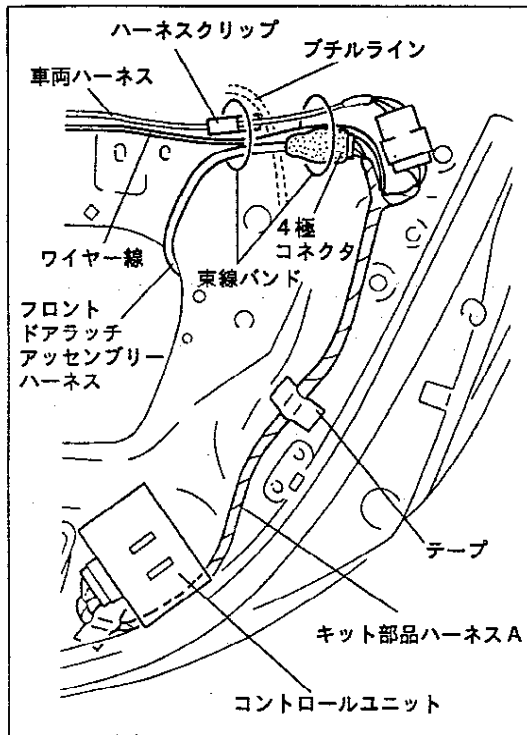
⚠ 注意
- 工業用アルコールでテープ貼り付け面の油分やほこり等を拭き取って下さい。

3．キット部品ハーネスAを付属のテープで、ドアパネルに固定します。

4．既存フロントドアラッチアッセンブリーのコネクタが接続されていた車両ハーネスの6極オスコネクタとフロントドアラッチアッセンブリーの4極オスコネクタとの間に、キット部品ハーネスAの6極、4極メスコネクタを図示のように割り込み接続します。

5．キット部品ハーネスAの1極コネクタを車両ハーネスの1極コネクタに接続します。

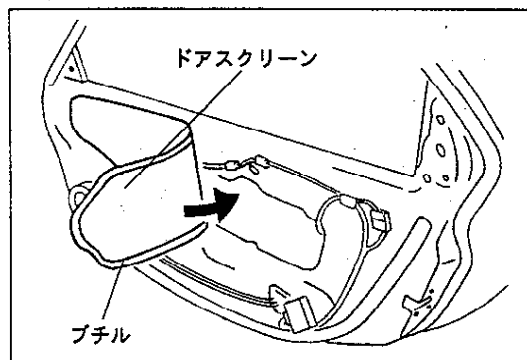
6．接続した1極コネクタを車両ハーネスのハーネスクリップと共に、束線バンドで固定します。

7．車両ハーネスに、キット部品ハーネスAの1極コネクタのワイヤー線を沿わせます。

8．図のように、車両ハーネスに束線バンド2本で固定します。

> ⚠ 注意
> - 4極コネクタは、ブチルラインよりも右側に配置して下さい。
> - 束線バンドで固定する際、車両ハーネスのハーネスクリップの場所に1ケ所、フロントドアラッチアッセンブリーの4極コネクタの場所に1ケ所固定して下さい。
> - テープ貼り付け面を工業用アルコールで油分やほこり等を拭き取って下さい。

9．キット部品ハーネスAを付属のテープで、ドアパネルに固定します。

10．この状態で作動チェック1を行います。（作動チェックの項目参照）

11．正常であれば、作動チェック1で接続したアンテナを切り離します。

12．ブチル（黒い接着用樹脂）をドアパネルに接着し、ドアスクリーンを元に戻します。

> ⚠ 注意
> - ブチルは隙間のないように密着して下さい。

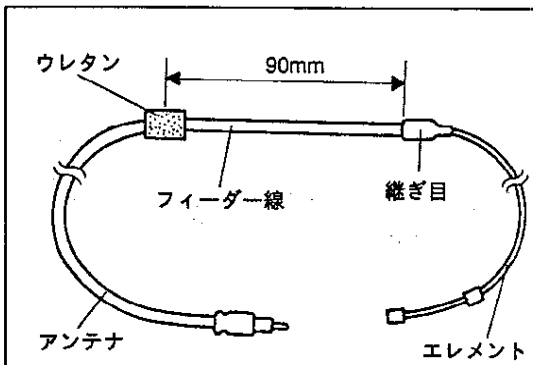
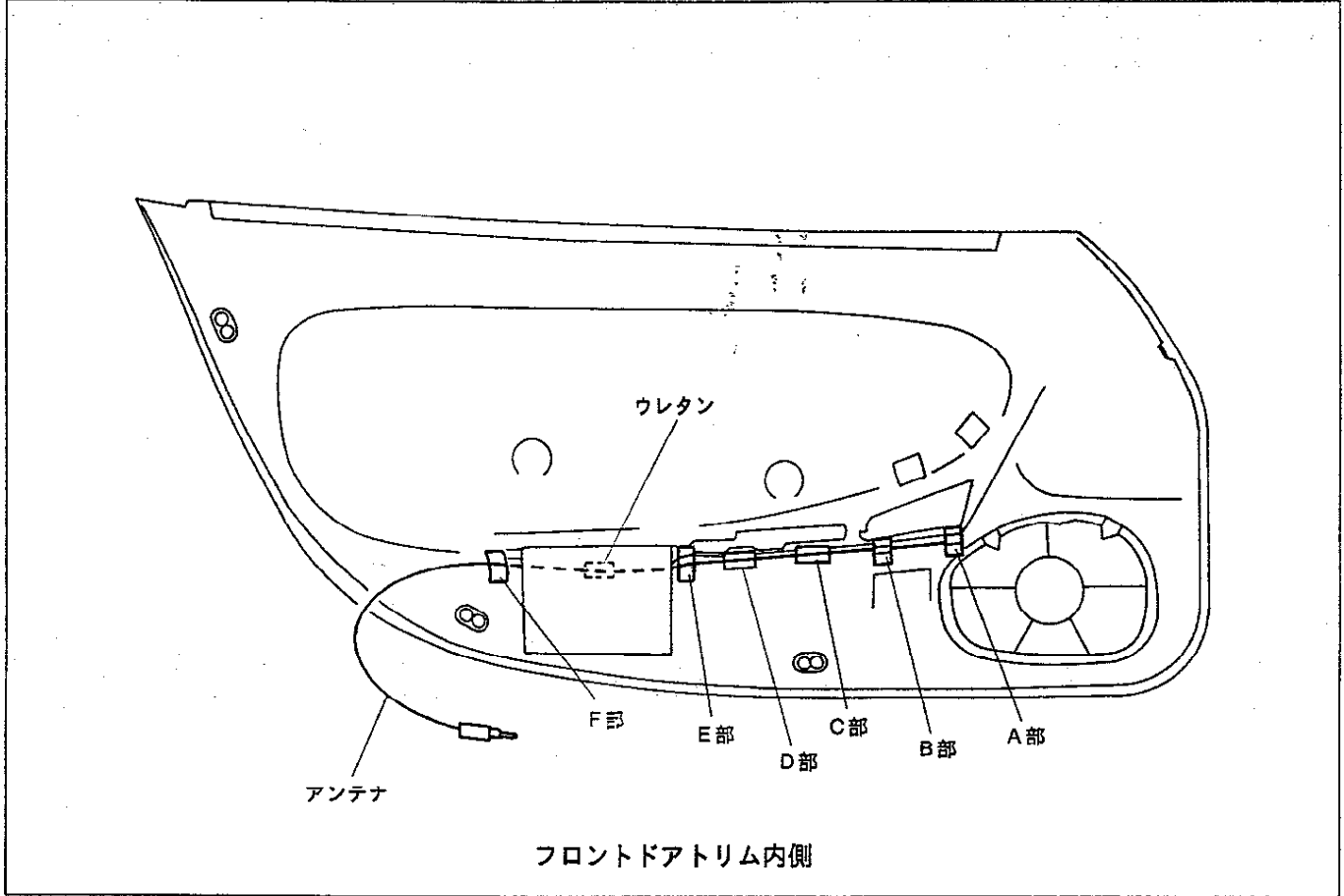
8．アンテナの取付け

⚠ 注意

● 「アンテナの取付け」は、正しい取付けを行って下さい。
取付けレイアウトが違うと、感度不良の原因となります。

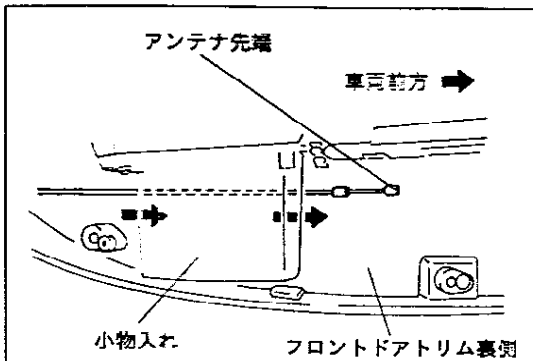
▼構成図

ウレタン

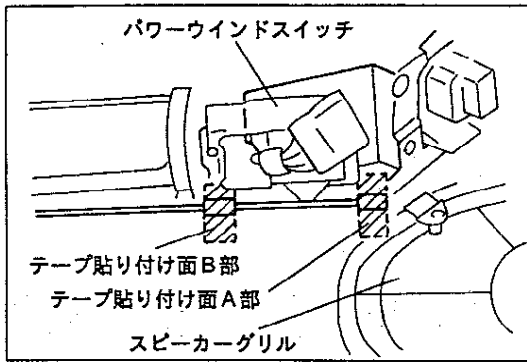
F部　E部　D部　C部　B部　A部

アンテナ

フロントドアトリム内側

アンテナの取付け要領

1. 図示のように、ウレタンをアンテナのフィーダー線に巻き付けます。

2. アンテナの先端（エレメント部側）から矢印のように、フロントドアトリムと小物入れの間を通します。

⚠ 注意

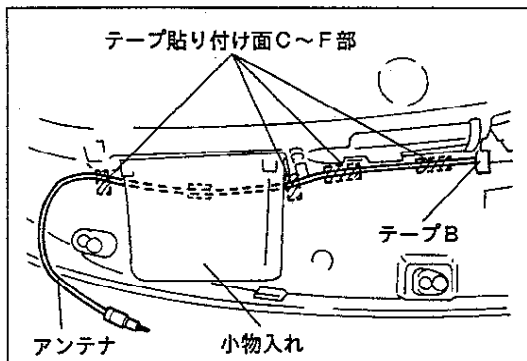
● 工業用アルコールでテープ貼り付け面の油分やほこり等を拭き取って下さい。

3．テープ<A部>

- アンテナの先端（ウレタン巻き部）を図のように、パワーウインドスイッチ下のドアトリム角部に合わせて、付属のテープで固定します。

ポイント

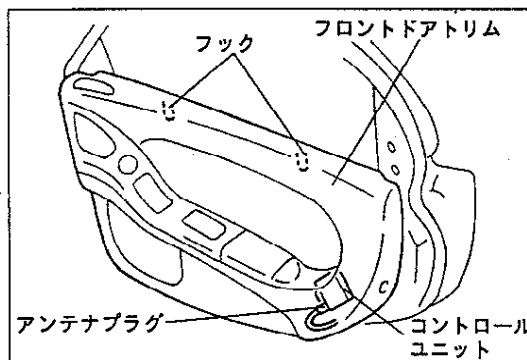
- **アンテナの先端は、必ずこの場所に固定して下さい。**

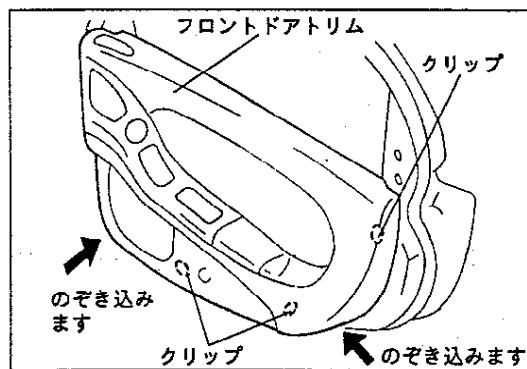
4．テープ<B部>

- アンテナの先端から２番目のウレタン巻き部を、付属のテープで固定します。

5．テープ<C、D、E、F部>

- アンテナを図のように、フロントドアトリム内側のアームレスト凹部に沿わせ付属のテープで固定します。

ポイント

- **A～F部まで、アンテナがなるべくたるまないようにして下さい。**

6．フロントドアトリムの取外しの際に切り離したコネクタを全て接続し、取外しと逆の手順で組付けます。
（組付けは、フックのみで仮止めの状態にしておきます）

7．アンテナプラグをコントロールユニットに差し込みます。

8．フロントドアトリムの下からのぞき込み、ハーネス、アンテナの噛み込みに注意しながらフロントドアトリムのクリップを取付けます。

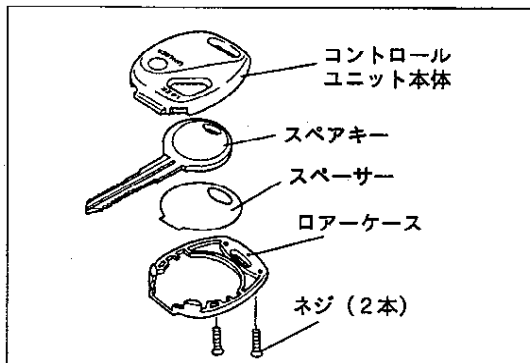
> ⚠ **注意**
> - **ハーネス、アンテナの噛み込みがないか注意しながらフロントドアトリムを取付けて下さい。**

9．この状態で作動チェック２を行います。（作動チェックの項目参照）

10．正常であれば、インナーハンドルカバーを取付けフロントドアトリムをスクリューで固定し、インナーガーニッシュ、セイルインナーガーニッシュ、スクリューカバーを取付けます。

9．スペアキーの組み込み方法

ご使用の前に以下の方法でトランスミッターにスペアキーを組み込んで下さい

> ⚠ 注意
> - **トランスミッターに組み込めるキーは、車両標準の鉄板キー（スペアキー）のみです。（樹脂モールドキーやファッションキーは組み込みが出来ません）**

組み込み要領

1．ロアーケースに、スペーサーを組み込みます。
2．スペアキーをロアーケースに組み込みます。
3．コントロールユニット本体を組み付け、付属のドライバーを使用し、ネジ2本でしっかりと固定します。

> ⚠ 注意
> - **コントロールユニット本体に貼ってあるシールは、防水性を持たせるためのものですので、破ったり、取外したりしないで下さい。故障の原因になります。**

10．作動チェック

<作動チェック1>

1．コントロールユニットにアンテナのプラグを接続します。 2．バッテリーの⊖ターミナルを接続します。 3．運転席のドアを開けたまま、トランスミッターの操作をします。

⇩

4．ロックスイッチを押すと全ドアが施錠し、アンロックスイッチを押すと全ドアが解錠します。	NO ⇨	● トランスミッターの電池の有無を確認して下さい。 ● 各コネクタの接続状態を点検して下さい。

⇩ YES

バッテリーの⊖ターミナルを切離し、次の作業項目を続けて下さい。

<作動チェック2>

1．バッテリーの⊖ターミナルを接続し、助手席の窓が全開になっていることを確認します。 2．全てのドアを閉じます。 3．車両中心から約3m離れて、トランスミッターの操作をします。

⇩

4．ロックスイッチを押すと全ドアが施錠し、アンロックスイッチを押すと全ドアが解錠します。	NO ⇨	● 各コネクタの接続状態と、ハーネスに噛み込みがないか点検して下さい。 ● コントロールユニットにコネクタとアンテナプラグが確実に接続されているか点検して下さい。 ● アンテナの引き廻しが指示通りにされているか確認して下さい。

⇩ YES

異常がなければ終了です。

<作動チェック後に>

- 作動チェックを行った後、最後に感度の確認として、助手席から1m離れ、システムが作動することを確認して下さい。

11. こんな時は

作動距離が極端に短い場合は、以下の項目を行って下さい。

1.アンテナの引き廻しが指示通りにされていますか。

- アンテナレイアウトが正規でないと作動範囲が狭くなります。本書「アンテナの取付け要領」の中のポイントを参考に修正して下さい。

2.他のコントロールユニットからの電波障害の可能性があります。

- 同時期に他のコントロールユニット（オプション品、その他後付け品）を取付けた場合は、そのコネクタを抜いて作動確認をして下さい。
- エンジン作動時（リモコンエンジンスターター、ターボタイマーによる作動含む）は、車両各種コントロールユニットからのノイズにより、受信妨害を受け作動距離が短くなる場合があります。
  エンジン作動時の御使用は注意して下さい。

3.電池を交換して下さい。

＜異常が発見出来ない場合＞

1.トランスミッターの暗証コード違いが考えられます。

付属の取扱説明書を参照し、暗証コードの登録をした後、再度作動チェックを行って下さい。